

第18回「青少年文化体験フェスタ」を実施して

実行委員長 中内伊美子

18回目を迎えた「青少年文化体験フェスタ」を7月3日(土)狭山市立山王小学校にて開催いたしました。当日は暑いとはいえ、照らず降らずの行事開催には都合のよい日でした。実行委員の皆さんには早い時期の準備から始まって大変な努力をしていただきました。

今回は、狭山市民謡協会が数年振りに参加し、三味線、太鼓、尺八に17名が受講、次回にも参加したいとの希望が多くありました。また、一日を通して行う「写真」講座が新しく加わりました。

参加者は中学生4名を含めて市内全小学校から延べ241名でした。体験を提供したのが14団体、その指導者107名、来賓や一般参加者、実行委員の総勢400余名の行事でした。

当日、ボランティアの男性が加わって下さったり、近くに駐車場を貸していただけたりしたのも助かりました。ただ、今後実行委員の人数の増加が望まれます。



集計結果から、会場校とその近くの学校からの参加が多いことが分かります。山王小学校には大変お世話になりました。ここに改めて感謝申し上げます。



第19回・青少年文化体験フェスタ

- ・日程：12月11日(土)(予定)
- ・会場：水富小学校・水富公民館
- ・参加団体募集中！

狭山市民謡協会「民謡のつどい」開かれる

猛暑の8月29日(日)、市民会館小ホールにて第31回の「民謡のつどい」が開催されました。

2会派が都合で不参加となり、規模が縮小。創立の原点に立ち帰ろうとコンクール、課題曲をやめ、85名の個人発表、合唱、器楽演奏・会主の唄声としました。

「桜まつり」出演の鶴の子会、「青少年文化体験フェスタ」で指導の千寿会の子供たちも熱演で会場を盛り上げ、会員はのびのびと発表。式典で、松本教育長より「青少年文化体験フェスタ」への感謝と期待のお話がありました。 狭山市民謡協会 高沢正夫